

平成 29 年度事業報告書

公益社団法人第 6 期（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）

2018 年 6 月 23 日総会提出

公益社団法人日本地理学会が定款に定める事業の概要は以下の通りである。

- ① 研究発表会、学術講演会等の開催による地理学研究の推進事業（定款 4 条 1 号）
- ② 学会誌及びその他の刊行物の発行による地理学研究の普及事業（定款 4 条 2 号）
- ③ 関連学会等との連携及び協力並びに社会連携・社会教育の推進事業（定款 4 条 3 号）
- ④ 研究の奨励及び研究業績の表彰による学術の発展と科学技術の振興事業（定款 4 条 4 号）
- ⑤ 資格認定、地理教育の支援等による地理学的知識・技術の普及及び社会貢献事業（定款 4 条 5 号）
- ⑥ 地理学に関連する国際的な研究協力の推進事業（定款 4 条 6 号）
- ⑦ その他目的を達成するために必要な事業（定款 4 条 7 号）

I 事業の状況

- ① 研究発表会、学術講演会等の開催による地理学研究の推進事業（定款 4 条 1 号）

1) 研究発表会等

集会名	開催年月日	参加者
(1)秋季学術大会(三重大学)	2017年9月29日～10月1日	545名
一般（口頭）発表（100）、ポスター発表（63）、シンポジウム(6件・41)	9月29日～9月30日	
第32回地理教育公開講座	9月30日	
研究グループ集会(18件)	9月30日	
懇親会(生協第一食堂)	9月29日	218名
巡検3件	10月1日	
(2)春季学術大会(東京学芸大学)	2018年3月22日～3月24日	919名
一般（口頭）発表（179）、ポスター発表（109）、シンポジウム(6件・42)	3月22日～3月23日	
第33回地理教育公開講座	3月23日	
研究グループ集会(24件)	3月23日	
懇親会(大学生協第一むさしのホール)	3月22日	259名
巡検3件	3月24日	

2) 総会等

- | | | | |
|-------------------------|---------|---------|---------|
| (1) 定時総会（第1回）2017年6月24日 | 出席者 16名 | 委任状 81名 | 合計 97名 |
| （臨時）2018年3月21日 | 出席者 45名 | 委任状 42名 | 合計 87名 |
| (2) 代議員会（第1回）2017年9月29日 | 出席者 44名 | 委任状 58名 | 合計 102名 |
| （第2回）2018年3月21日 | 出席者 45名 | 委任状 42名 | 合計 87名 |
| (3) 理事会 4回・常任理事会 12回 | | | |

- ② 学会誌及びその他の刊行物の発行による地理学研究の普及事業（定款 4 条 2 号）

1) 学会誌の刊行

- (1) 「地理学評論（Geographical Review of Japan Series A）」を下記のとおり発行した。

発行年月日	巻 号	発行部数
平成 29 年 5 月 1 日	90 3	3,500 部

平成 29 年	7 月 1 日	90	4	3,500 部
平成 29 年	9 月 1 日	90	5	3,500 部
平成 29 年	11 月 1 日	90	6	3,500 部
平成 30 年	1 月 1 日	91	1	3,500 部
平成 30 年	3 月 1 日	91	2	3,500 部

計 6 冊 (90 巻 3 号～91 巻 2 号) 662 ページ

論説 8 編、総説 1 編、短報 18 編、資料 1 編、書評 22 編、フォーラム 1 編、紙碑 3 編、学会記事等を掲載した。

(2) オンライン学会誌「Geographical Review of Japan Series B」(J-STAGE 公開)を下記のとおり発行した。

発行年月日	巻	号
平成 29 年 4 月 3 日	89	2
平成 29 年 8 月 19 日	90	1
平成 29 年 12 月 29 日	90	2

計 3 冊 (89 巻第 2 号・90 巻第 1 号・90 巻 2 号電子ジャーナル) 96 ページ

89 巻 2 号には、短報 1 編、書評 2 編を掲載した。90 巻 1 号には「the 11th Japan-Korea-China Joint Conference on Geography」特集号の記事、前書き 1 編、論説 3 編、報告 2 編を掲載した。90 巻 2 号には、論説 1 編、短報 1 編を掲載した。

(3) オンライン学会誌「E-journal GEO」を下記の通り発行した。

発行年月日	巻	号
平成 29 年 9 月 30 日	12	1
平成 29 年 12 月 28 日	12	2

計 2 冊 (12 巻 1 号～2 号・電子ジャーナル) 340 ページ

12 巻 1 号には、解説記事 2 編、調査報告 6 編、地理紀行 3 編、シンポジウム記事 10 編、巡検報告 3 編、齋藤功研究助成研究成果報告書 2 編、12 巻 2 号には、調査報告 6 編、地理教育総説記事 1 編、地理紀行 2 編、シンポジウム記事 6 編、巡検報告 3 編を掲載した。

2) その他の刊行物の刊行

「日本地理学会発表要旨集」を下記のとおり発行した。

発行年月日	号	発行部数
平成 29 年 9 月 10 日	92	750 部
平成 30 年 3 月 10 日	93	1,200 部

計 2 冊 (92 号～93 号) 562 ページ

③ 関連学会等との連携及び協力並びに社会連携・社会教育の推進事業 (定款 4 条 3 号)

- 1) 地理関連学会連合に加盟し、代表を送り、事務局を務めた。
- 2) 地理学連携機構に加盟し、代表委員を送り、事務局を務めた。
- 3) 日本地球惑星科学連合に加盟し、代表を学協会長会議および学協会連絡委員会に送るとともに、関連する委員会に必要に応じて委員を送った。
- 4) 人文・経済地理及び地域教育関連学会連携協議会に加盟し、代表委員を送った。
- 5) 自然史学会連合に加盟し、代表を送った。
- 6) 日本ジオパーク委員会活動に協力し、委員を送った。
- 7) 防災学術連携体に参加し、代表を送った。
- 8) 以下の 30 件について、他学会との交流を行った。
 - (1) 第 5 回中部ライフガード TEC2017—防災・減災・危機管理展 (後援)
2017 年 5 月 18 日 (木)・5 月 19 日 (金) にポートメッセなごやにおいて開催された。
 - (2) 2017 年日本地球惑星科学連合大会
2017 年 5 月 20 日 (土)～25 日 (木) に幕張メッセにおいて開催された。
セッション「人間環境と災害リスク」、「環境リモートセンシング」、「Environmental Remote Sensing」、「Geographic Information Systems and Cartography」、「地理情報システムと地図・空間表現」(共催)
 - (3) 第 4 回「震災対策技術展」大阪 (後援)
2017 年 6 月 1 日 (木)・2 日 (金) にコングレコンベンションセンターにおいて開催された。
 - (4) 第 27 回地図地理検定 (後援)

- 2017年6月18日(日)に開催された。
- (5) 空間情報シンポジウム2017(後援)
2017年7月5日(木)東京コンファレンスセンター・品川 5F大ホール、13日(木)大阪 毎日新聞オーバルホール、19日(水)名古屋 JPタワー名古屋ホール&カンファレンスにおいて開催された。
- (6) 全国中学校地理教育研究会第58回全国研究大会(後援)
2017年8月4日(金)・5日(土)に日本大学経済学部において開催された。
- (7) 第12回韓中日地理学会議(後援)
2017年8月23日(水)～26日(土)に韓国済州島において開催された。
- (8) 岐阜県「第23回児童生徒地図作品展」(後援)
2017年9月1日(金)～17日(日)に岐阜県図書館において開催された。
- (9) GIS day in 四国2017(後援)
2017年9月5日(火)に香川大学工学部林町キャンパスにおいて開催された。
- (10) 第56回地図ならびに地理作品展(後援)
2017年9月9日(土)～24日(日)に広島市こども文化科学館において開催された。
- (11) GIS day in 伊勢2017(後援)
2017年9月20日(水)に皇學館大学において開催された。
- (12) 九州ライフガードTEC-防災・減災・危機管理展(協賛)
2017年9月20日(水)・21日(木)にグランメッセ熊本において開催された。
- (13) 2017年度「初等中等教育におけるGISを活用した授業に係る優良事例表彰」(後援)
2017年10月14日(土)に日本科学未来館において、初等中等教育現場においてGISを実践的に活用した授業に取り組んでいる教員に対し、表彰が行われた。
- (14) 鳥取県「第19回児童生徒地域地図発表作品展」(後援)
2017年10月18日(水)～11月30日(木)に鳥取市歴史博物館(やまびこ館)、倉吉未来中心、米子市児童文化センターにおいて巡回展示が開催された。
- (15) 旭川市「第27回私たちの身のまわりの環境地図作品展」(後援)
2017年10月28日(土)・29日(日)に旭川市科学館サイパレにおいて開催された。
- (16) 日本学術会議公開シンポジウム「持続可能な社会づくりに向けた地理教育の充実——SDGs実現における教育の役割」(後援)
2017年11月4日(土)に東京大学教養学部において開催された。
- (17) 「地図展2017 南多摩50年の軌跡」(後援)開催
2017年11月8日(水)～11月14日(火)にパルテノン多摩特別展示室市民ギャラリーにおいて開催された。
- (18) 第28回地図地理検定(後援)
2017年11月12日(日)に開催された。
- (19) 第6回都市環境デザインフォーラム「暑熱環境に適応した都市環境デザインの実践」(後援)
2017年11月20日(月)に建築会館ホールにおいて開催された。
- (20) 「UNESCO世界自然遺産における自然保護とサステイナブル・ツーリズム」(後援)
2017年11月21日(火)和歌山大学 基礎教育棟において開催された。
- (21) 「防災推進国民大会」開催
2017年11月26日(日)に仙台国際センターにおいて開催された。
- (22) 多摩市「第21回身のまわりの環境地図作品展」(後援)
2017年12月1日(金)～12月3日(日)にパルテノン多摩において開催された。
- (23) 第25回風工学シンポジウム(協賛)
2017年12月3日(月)～5日(水)に東京工業大学大岡山キャンパスにおいて開催された。
- (24) GIS day in 中国2017(後援)
2017年12月7日(木)に広島大学東広島キャンパスにおいて開催された。
- (25) 第15回全国バスマップサミット in やまなし(後援)
2017年12月8日(金)・9日(土)に恩賜林記念館、甲府富士屋ホテル、藤村記念館において開催された。
- (26) GIS day in 東京2017(後援)
2017年12月9日(土)に首都大学東京南大沢キャンパスにおいて開催された。
- (27) 第21回全国児童生徒地図優秀作品展(後援)
2018年1月10日(水)～2月18日(日)に地図と測量の科学館、国土交通省1階展示コーナー、科学技術館4階ギャラリーにおいて開催された。
- (28) 第22回「震災対策技術展」横浜(後援)

2018年2月8日(木)・9日(金)に横浜国際平和会議場において開催された。
(29) GIS day in 関西 2018 (後援)

2018年3月3日(土)に立命館大学衣笠キャンパスにおいて開催された。

(30) International Workshop on Wind-Related Disasters and Mitigation (WRDM) (後援)

2018年3月11日(日)～14日(水)に東北大学において開催された。

④ 研究の奨励及び研究業績の表彰による学術の発展と科学技術の振興事業 (定款4条4号)

1) 平成29年度日本地理学会賞受賞者を表彰した。

優秀論文部門 (1名): 寺床幸雄

若手奨励部門 (1名): 崎田誠志郎

論文発信部門 (1名): 南雲直子

優秀著作部門 (1名): 石川義孝

著作発信部門 (1グループ (2名)): 山崎晴雄・久保純子

地理教育部門 (1名): 大谷誠一

学術貢献部門 (1名): 田村俊和

社会貢献部門 (2名): 清水長正、宮路秀作

2) 以下の3件について、出版助成を行った。

宇都宮陽二郎著『地球儀学入門』三重大学出版会

外戸保大介著『進化する企業城下町—進化経済地理学からのアプローチ—』古今書院

埴淵知哉編『社会関係資本の地域分析』ナカニシヤ出版

3) 齋藤 功研究助成として、若手研究者に対する南北アメリカ研究助成を行った。

小室 譲: 「カナダ・ブリティッシュコロンビア州ウィスラーにおける外国資本の特徴と役割」

高木 仁: 「カリブ海、英領ケイマン諸島の人々とウミガメの文化地理」

⑤ 資格認定、地理教育の支援等による地理学的知識・技術の普及及び社会貢献事業 (定款4条5号)

1) GIS 学術士資格認定制度

2017年度は3回の委員会を開催した。2018年3月3日現在のGIS学術士実績証明団体は33、GIS専門学術士実績証明団体は14である。GIS学術士20名、GIS専門学術士0名、GIS学術士(見込み)13名の認定を行った。

2) 地域調査士資格制度

2017年度は4回の講習会及び4回の委員会を開催した。講習会の受講者は、地域調査士講習会291名、専門地域調査士講習会9名であった。また地域調査士34名、専門地域調査士9名の認定を行った。2018年3月末現在、学部科目については23大学・26学科(コース)、大学院科目については5大学院の開設科目が認定されている。さらに、2014年度から地域調査士認定に「申請前部分審査」制度を導入し、年度内の認定の適合審査で102名が認定された。地域調査士通信を発行した(2017年9月第6号、2018年3月第7号)。

3) 「G空間 EXPO2017」(2017年10月14日(土))に参加し、「時空間を旅する歴史の見方・地理の見方」の企画を実施した。シンポジウムは60名の参加者があった。

4) 国土地理院との共催でサマースクール(2017年9月6日(水))を実施した。12名の参加者があった。

5) 国際地理オリンピック大会(ベオグラード)を支援した。41カ国・地域160名の選手が参加し、日本選手は銀メダル1名、銅メダル1名と健闘した。団体部門のポスターセッション(テーマは「若者にとっての観光資源」)では、参加国・地域中第1位となった。参加41カ国のうち第20位という好成績をおさめた。

6) 一般市民を対象とする地理教育公開講座「「地理総合」と国際理解・国際協力」(秋季学術大会;参加者86名)、「「地理総合」と防災・持続可能な社会の構築」(春季学術大会;参加者250名)を実施した。

7) 秋季学術大会において、一般市民を対象とする公開講座「ジオパーク活動における地理学専門員の必要性」(参加者約30名)、「田園回帰と地理学理論」(参加者120名)、「2022年地理総合を踏まえた教育環境づくり」(参加者130名)、「四日市公害の教訓とアジアの国際環境協力——四日市公害訴訟判決45周年公開シンポジウム——」(参加者200名)、GIS講習会「地理必修化に向けたGIS教材作成講座」(参加者33名)を実施した。また春季学術大会において、「これからの地理学と日本地理学会——「新ビジョン」の目指すもの——」(参加者約100名)、「新学習指導要領とジオパーク」(参加者約

130名)、「防災の基礎としての地形分類図」(参加者約120名)、「地理教材としての景観写真の活用術」(参加者120名)、「地理総合」に関する講習会」(参加者約140名)、GIS講習会「オープンデータを活用したGIS講習会」(参加者54名)、「スマホ・タブレットで行うフィールドワーク」(参加者49名)を実施した。

8) 秋季学術大会および春季学術大会において、高校生によるポスターセッションを実施した。秋季22件、春季34件。優れたポスター発表に対して賞を授与した。

⑥ 地理学に関連する国際的な研究協力の推進事業 (定款4条6号)

1) 日本地球惑星科学連合2017年大会

後援セッションとして「人間環境と災害リスク」、「環境リモートセンシング」、「Environmental Remote Sensing」、「Geographic Information Systems and Cartography」、「地理情報システムと地図・空間表現」を関連学会と共催して提案した。

2) 第12回韓中日地理学会議(第3回アジア地理学会議)(後援)

2017年8月23日(水)～26日(土)に韓国済州島において開催された。

3) 英文叢書として1冊を刊行し、日本における研究成果の国際的な発信に努めた。

⑦ その他目的を達成するために必要な事業 (定款4条7号)

1) 東日本大震災ほかの災害に対する調査研究および社会貢献事業

2) ジオパークに関する調査研究および社会貢献事業

II. 処務の概要

① 役員等に関する事項

平成29年度末現在

職名	常勤・非常勤	氏名	就任(重任)年月日	担当職務	報酬	現職	備考
理事長	非常勤	村山 祐司	平成28年6月25日		なし	筑波大学教授	
常務理事	非常勤	呉羽 正昭	平成28年6月25日	総務専門委員長	なし	筑波大学教授	
常務理事	非常勤	箸本 健二	平成28年6月25日	財務専門委員長	なし	早稲田大学教授	
理事	非常勤	堤 純	平成28年6月25日	総務専門副委員長	なし	筑波大学准教授	
理事	非常勤	佐藤 英人	平成28年6月25日	財務専門副委員長	なし	高崎経済大学教授	
理事	非常勤	川口 太郎	平成28年6月25日	集会専門委員長	なし	明治大学教授	
理事	非常勤	松本 淳	平成28年6月25日	交流専門委員長	なし	首都大学東京教授	
理事	非常勤	久保 純子	平成28年6月25日	交流専門副委員長	なし	早稲田大学教授	
理事	非常勤	鈴木 厚志	平成28年6月25日	企画専門委員長	なし	立正大学教授	
理事	非常勤	松原 宏	平成28年6月25日	広報専門委員長	なし	東京大学教授	
理事	非常勤	加賀美雅弘	平成28年6月25日	E-journal GEO 編集専門委員長	なし	東京学芸大学教授	
理事	非常勤	森島 濟	平成28年6月25日	地理学評論編集専門委員長	なし	日本大学教授	
理事	非常勤	鈴木 康弘	平成28年6月25日	Geographical Review of Japan Series B 編集専門委員長	なし	名古屋大学教授	
理事	非常勤	井田 仁康	平成28年6月25日	地理教育専門委員長	なし	筑波大学教授	
理事	非常勤	長谷川 均	平成28年6月25日	資格専門委員長	なし	国土館大学教授	
監事	非常勤	山下 清海	平成28年6月25日		なし	立正大学教授	
監事	非常勤	岡橋 秀典	平成28年6月25日		なし	広島大学教授	

② 職員に関する事項

平成29年度末現在

勤務形態	当期末 (平成30年3月末)	前期末比増減
常勤	1名	0名
非常勤	5名	0名

③ 会議等に関する事項

(1) 理事会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
平成 29 年 6 月 3 日	1. 会員の入退会について 2. 2016 年度の事業報告について 3. 2016 年度の収支決算報告について 4. 2017 年度定時総会の開催について 5. 監査報告 6. 100 周年記念事業積立規程等について	承認 承認 承認 承認 承認 承認
平成 29 年 9 月 23 日	1. 会員の入退会について	承認
平成 29 年 12 月 9 日	1. 会員の入退会について 2. 吉野正敏研究助成について	承認
平成 30 年 3 月 10 日	1. 会員の入退会について 2. 財務報告について 3. 平成 30 年度事業計画案について 4. 平成 29 年度補正予算・平成 30 年度収支予算案について 5. 名誉会員の推薦について 6. 臨時総会の開催について 7. 定時総会の開催について 8. Geographical Review of Japan Series B 投稿規程の改訂について 9. 理事会推薦理事について	承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認

(2) 総会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
平成 29 年 6 月 24 日	1. 2016 年度事業報告の承認に関する件 2. 2016 年度収支決算の承認に関する件	全会一致で承認 全会一致で承認
平成 30 年 3 月 21 日	1. 名誉会員の推薦に関する件	全会一致で承認・決定

事業報告の附属明細書

該当なし